

【NEWS RELEASE】

2018年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

日本製紙株式会社に「ESG/SDGs 評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本製紙株式会社（代表取締役社長：馬城 文雄）に、「ESG/SDGs 評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG（ 1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（ 2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の日本製紙株式会社に対する評価結果は、「事業活動における気候変動への取組」、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」、「サプライヤーへの配慮」において非常に高い水準であると判断され、企業経営において大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs 達成への高い貢献意欲をお持ちであることから、最上位評価の取得となりました。

ESG 側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、自社の事業活動に伴う CO2 排出量削減のため、化石燃料から木質バイオマス燃料等への転換を積極的に進めているほか、電力会社へ電力を販売するバイオマス発電事業を展開するなど、再生可能エネルギーの利用を促進しておられる点

機能性セルロースナノファイバーを配合した高い消臭機能を持つシートを開発、実用化し、大人用紙おむつとして提供することにより、高齢者の日常生活における快適性向上に貢献しておられる点

「原材料調達に関する理念と基本方針」と「木質原材料調達に関するアクションプラン」を策定し、調達する全ての木質原材料について、監査やリスク評価を実施しておられる点

加えて、SDGs 達成に向けて、2018 年 8 月に「紙化ソリューション推進室」を新設し、優れたバリア性を持つ紙製包装材料「シールドプラス」等のプラスチック代替包材の普及を通じて、SDGs が示す「目標 13 気候変動に具体的な対策を」、「目標 14 海の豊かさを守ろう」等の達成に向けた明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs 評価融資」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。